

名古屋市女性会館のあらし

令和5年度版

名古屋市教育委員会

目 次

I	目 的	1
II	建設の経緯	1
	1 女性学習センター	1
	2 女性情報センター	2
III	施設のあらまし	2
	1 名称・位置	2
	2 建物の概要	2
	3 施設の案内	3
	4 開館時間と休館日	3
	5 部屋別一覧	4
IV	組織及び分掌事務	5
V	予 算	5
VI	令和5年度事業計画	6
	1 はじめに	6
	2 事業目標と具体的な事業	6
	(1) 「学習の場」の提供	6
	(2) 「交流の場」の提供	7
	(3) 「情報の場」の提供	8
	3 施設等の提供	9

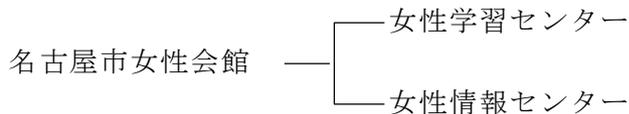
VII	令和4年度事業結果	10
1	主催事業のあらまし	10
	【具体的な事業展開】	11
1	「学習の場」提供事業	11
2	「交流の場」提供事業	13
3	「情報の場」提供事業	15
4	その他	17
VIII	令和4年度利用状況	18
1	開館日数	18
2	利用人数	18
IX	参考資料	20
1	新型コロナウイルス感染症に関するイーブルなごやの対応	20

I 目的

名古屋市女性会館は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図ることを目的として設けられた社会教育施設である。学習や交流をとおして、女性が問題を解決する力を高められるように、各種の事業を展開している。

また、平成3年に併設された女性情報センターは、女性の生涯にわたる学習要求に応える情報の提供や女性自らの情報の活用、発信を支援することを目的としている。

なお、女性情報センターの開館により、既設の婦人会館と新設の女性情報センターの総合名称を「女性会館」とし、婦人会館部分を女性学習センターとした。



さらに、市民に一層親しまれる施設となるよう、女性会館の愛称を公募により「イーブネット」とした。

「イーブネット… “イーブン=平等” と “ネットワーク=交流と連帯” の言葉を合わせたもの」

平成26年4月には男女平等参画推進センターが女性会館に移転し、女性教育と男女平等に係る事業及び運営を一体的に行っている。

また、両施設の共通愛称を公募により「イーブルなごや」とした。

「イーブル… “イーブン=平等” と “エイブル=可能” を組み合わせた言葉」

II 建設の経緯

1 女性学習センター（旧「婦人会館」）

昭和48年12月19日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市会に請願（署名8万人）
49年 2月 1日	請願、市会で採択
49年 8月30日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市長及び教育委員会へ陳情
49年12月 3日	婦人グループ・サークルが市長及び教育委員会へ陳情
50年 1月29日	婦人グループ・サークル共同で婦人会館建設を市会に請願
50年 1月	名古屋市短期3か年計画を策定（婦人会館建設を計画）
50年 4月 1日	婦人会館建設調査費を当初予算に計上（調査費30万円）
50年10月13日	婦人団体・グループ代表を含む建設調査委員会設置
	第1回会合、基本構想について審議
50年12月 1日	第2回会合、施設・事業内容について審議 他都市実情調査
51年 2月24日	第3回会合、あるべき会館像の作成
51年 4月 1日	51年度予算に実施設計費を計上（1000万円）
51年 7月 7日	第4回会合、女性の要望集約を決定
51年 7月～9月	計画案・事業案についての女性の要望、意見集約
51年 9月	現在地に構想固まる
	実施設計費を9月市会で補正
51年12月	本体工事実施設計を完了
52年 4月20日	工事着工
53年 7月19日	開館

2 女性情報センター

昭和60年10月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホールの建設をすすめる会」 発足（4団体・69グループ参加）
60年12月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホール建設に関する陳情書」を 市長、教育委員会及び市会へ提出（署名59,000人）
61年 8月	婦人団体代表、学識経験者を委員とする「女性教育情報センター建設 調査委員会」を設置
62年 2月	すすめる会より女性教育情報センターの施設構想について要望書提出
63年 3月	「女性教育情報センター基本構想」策定
平成 元年 3月	女性教育情報センター基本設計完了、情報システム調査実施
元年 9月	実施設計完了
元年12月	建設着工
2年12月	建設完了
2年12月	情報システム設計完了、運用準備
3年 5月24日	開館

Ⅲ 施設のあらまし

1 名称・位置

- (1) 名称 名古屋市女性会館（共通愛称「イーブルなごや」）
 (2) 位置 名古屋市中区大井町7番25号

2 建物の概要

	女性学習センター	女性情報センター	合 計
敷地面積	2,211.08㎡	1,169.26㎡	3,380.34㎡
延床面積	3,434.18㎡	2,392.49㎡	5,826.67㎡
建築面積	1,043.39㎡	791.12㎡	1,834.51㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建一部4階建	
着 工	昭和52年4月20日	平成元年12月	立体駐車場 484.08㎡
竣 工	昭和53年7月15日	平成2年12月	
開 館	昭和53年7月19日	平成3年5月24日	
総 工 費	608,962,000円 うち国庫補助 60,000,000円 県費補助 60,000,000円	1,022,000,000円 うち国庫補助 83,000,000円 県費補助 71,400,000円	

3 施設の案内

区 分	女性学習センター	女性情報センター
4 階		同時通訳室（親子ルーム）（3）・調光・映写室・設備機械室
3 階	大会議室・中会議室・大研修室 第4集会室・第6研修室・第7研修室 多目的室	ホール
2 階	第1研修室・第2研修室・第3研修室 第1和室・第2和室・視聴覚室・授乳室 生活科学研修室・小会議室	録音室・モニター室
1 階	文化活動室・ボランティアルーム・喫茶室 印刷コーナー・託児室・第4研修室 活動コーナー・図書資料室 第5研修室・図書閲覧コーナー	第1集会室・第2集会室・第3集会室 情報フロア・活動コーナー
地 階	機械室・電気室・ボイラー室 消火用ポンプ室	

駐車場	立体駐車場	32台
	平面駐車場 (身障者用2台含む)	17台
	合 計	49台

4 開館時間と休館日

(1) 開館時間

午前9時～午後9時（日曜・祝休日は午後5時まで）

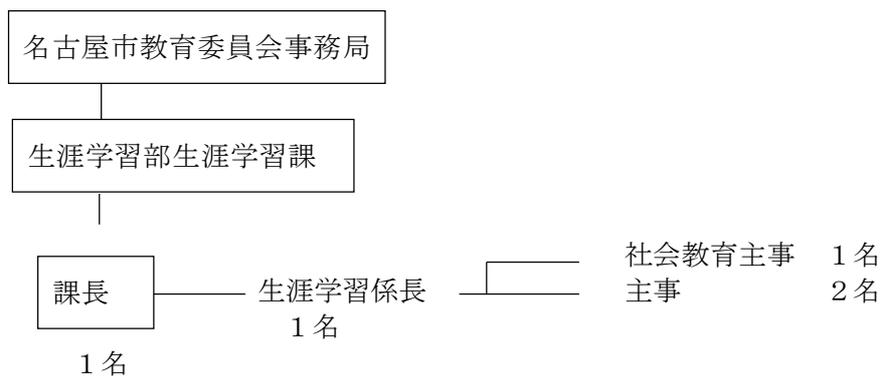
(2) 休館日

毎月第3木曜日、年末年始

5 部屋別一覧

区分	女性学習センター			女性情報センター		
	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)
3階	大会議室	42	97.40	ホール	350	350.00
	中会議室	24	49.80	ステージ	—	140.00
	大研修室	150	141.60	ロビー	—	61.75
	第6研修室	12	33.62			
	第7研修室	32	70.25			
	多目的室	30	76.48			
	第4集会室	63	94.40			
2階	視聴覚室	126	144.60	録音室	—	18.52
	第1研修室	54	70.80			
	第2研修室	54	70.80			
	第3研修室	12	29.88			
	生活科学研修室	54	87.00			
	第1和室	18	97.00			
	第2和室	15				
	小会議室	12	29.88			
1階	事務室・放送室	—	90.80	第1集会室	36	51.41
	第4研修室	15	32.00	第2集会室	22	37.99
	第5研修室	8	21.39	第3集会室	12	31.26
	文化活動室	50	117.00			
	託児室	—	86.96			
	ボランティアルーム	—	29.96			
	図書資料室	—	163.18			

IV 組織及び分掌事務



生涯学習係分掌事務（女性会館関係）

- (1) 女性会館の事業
- (2) 女性教育の事業
- (3) 女性会館の管理等に関する合理化

（令和5年3月31日現在）

V 予算

（単位：千円）

事 項	令和5年度	令和4年度	増 減
女性会館運営費	79,233	68,554	10,679
管 理 費	76,417	65,702	10,715
学習機会提供事業	926	932	△6
情報提供相談事業	1,890	1,920	△30

1 はじめに

令和4年度は、ポストコロナの時代からDVによる女性の孤立や貧困等、社会的課題が顕著化した。一方で幅広い年齢層がICTの普及により、非対面型のコミュニケーション方法や学習機会を得ることができたが、情報・ネット・コンピューターリテラシーを身に付けることが必要となった。

誰もが、互いの人権を尊重し、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の社会における最重要課題であり、令和2年12月には、国で「第5次男女共同参画基本計画」が閣議決定され、本市においても、令和3年3月に「名古屋市男女平等参画基本計画2025」が策定された。

これまでも名古屋市女性会館（以下、女性会館）は、女性教育を振興する拠点施設として、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進してきた。本年度も、国・本市の上記基本計画の内容を踏まえ、女性教育を振興する拠点施設の使命を達成していくものとする。そして、「学習の場」「交流の場」「情報の場」を充実させ、さらなる女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）や男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる事業を展開していく。また、平成26年度より一体的運営を行っている男女平等参画推進センターとの連携を一層進め、実効性のある充実した事業実施に努めていく。

2 事業目標と具体的な事業

※ 破線で囲まれた事業については、指定管理者が進める。

(1) 「学習の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる学習、また社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習の機会を提供する。

① 主催講座・講演会の開催

ア 講座の4本柱とその内容

女性生き方、エンパワーメント

女性の生き方やエンパワーメントにつながる学習、社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習。

現代的課題

人権、環境、国際理解等、女性を取り巻く今日的課題についての理解を深めるとともに、課題解決に向けての実践的な態度を養う学習。

社会参画

施設ボランティアや女性リーダー等、地域社会に積極的に参画する人材を育成する学習。

子育て

家庭教育の充実と支援、「親学」の推進を図る学習。

イ 講座・講演会の開催

系統的・継続的な学習機会として連続講座を開催する。

継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者等、幅広い市民を対象として、単発で行う講演会等を開催する。

ウ 学習サポート

障がいのある方や子育て中の保護者等、様々な事情・状況にある方への学習支援を行うために、講座資料やチラシ等の点訳や要約筆記、手話通訳、託児付きの事業を実施する。

エ 連携

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、大学、行政機関、女性関連施設、女性会館施設ボランティア等と積極的に連携して事業を展開する。

地域で活躍できるこれからの女性リーダーの育成を目的とした「なごや女性カレッジ」を、5年度は、愛知淑徳大学と連携して開催する。

オ 出前講座

将来を担う若者たちに、男女共同参画や社会的性別（ジェンダー）、デートDV等についての正しい知識や現状について学ぶ機会を提供するために、名古屋市内の高等学校を対象に出前講座を実施する。

② 託児事業

託児事業として、女性会館を利用する学習者、また団体・自主学習グループ活動に参加する学習者を支援する「学習支援託児」を行う。

また、講座・講演会等のすべての主催事業において「講座託児」を行う。

(2) 「交流の場」の提供

女性会館で活動している団体・自主学習グループが、主体的に学び、様々な交流ができ、かつ学習の成果を地域社会に還元することができるように支援する。

① 学習成果の還元

ア 「イーブルなごや・フェスティバル」の開催をはじめ、団体・自主学習グループが協力して学習や交流ができ、学習の成果を地域社会に還元できる場を開設する。

イ 団体・自主学習グループによる「自主学習グループ開設講座」に対して支援する。

ウ 「学習グループ登録」の推進や、団体・自主学習グループによる学習の成果還元を支援する。

② 団体・自主学習グループの育成・支援

ア 講座や学習終了後、さらに自主的に学習を深めていこうとする団体・自主学習グループの育成・支援を行う。

イ ボランティア活動やグループ活動の継続・継承・発展を支援するための研修会を開催する。

(3) 「情報の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の意識啓発、社会的性別（ジェンダー）の視点を養うことにつながる情報を収集し提供する。

① 学習相談事業

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、女性の課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら情報収集し学習できるよう活動コーナーの学習環境を整えたり、相談を受けたりする。

② 図書資料室の運営

ア 女性のエンパワーメント、男女共同参画、社会的性別（ジェンダー）の視点で、図書・資料を収集する。

イ 図書・資料の展示、貸し出しを行う。

また、図書・資料に関する問い合わせ対応や活用の支援を行う。

ウ 主催事業に関連した、男女共同参画の意識啓発や女性の課題解決に向けたテーマでの図書・資料の企画展示を行う。

エ 講座・講演会等で図書資料室や企画展示のガイダンスを行い、利用促進を図る。

③ 広報の充実

女性会館の事業紹介や学習情報の提供のための広報を積極的に行う。

ア 新聞、地域誌等の広報媒体を活用した積極的な広報を行う。

イ 講座ガイドやチラシを活用した広報を行うとともに、ホームページの充実を図る。

3 施設等の提供

「女性の学習・交流・情報の拠点」として、利用者の視点に立った快適な学習環境の形成のために、施設・設備にかかる良好な条件整備に努め、利用促進を図る。

Ⅶ 令和4年度事業結果

1 主催事業のあらまし

(1) 「学習の場」の提供事業

① 講座の開催

- ・ 主催講座（なごや女性カレッジを含む）16 講座開催。「知って安心！女性のカラダ」や「女性たちの『いま』～知ることによって変わるこれからの未来～」などを開催した。
- ・ 施設ボランティア育成事業として「託児ボランティア養成講座」「点訳ボランティア入門講座」を前期・後期に開催した。

② 公開講座・講演会等の開催

「命のうた～余命告知と難病を乗り越えて～」 「メディアを通して考える身のまわりのジェンダー平等」など女性の現代的課題にかかわるテーマで公開講座・講演会を12回開催した。また、デートDV防止出前講座を7回開催した。

③ 「なごや女性カレッジ」の開催

日本福祉大学と連携して「ワタシの力、社会で発揮！」をテーマに開催した。

④ 連携事業

- ・ スポーツ市民局男女平等参画推進室との共催で、特別講演会「女性のからだについて知ってほしいこと～自分がどんな人生を送るか、自分自身で決められる～」を開催した。
- ・ 主催講座については、託児の会「たんぽぽ」などの女性学習グループと連携して開催した。

⑤ 託児事業

- ・ 「講座・講演会託児」45回、「学習支援託児」24回等実施した。

(2) 「交流の場」の提供事業

① 学習の成果を還元するための支援

主催講座・講演会における要約筆記、点訳資料の作成、託児付き事業などを実施した。

② グループの育成・支援

「託児ボランティア研修会」などを開催し、施設ボランティアの活動の継承と発展を支援した。

(3) 「情報の場」の提供事業

① 図書資料室の運営

女性関係専門書の収集、閲覧、貸し出しを行った。また、講座・講演会に関連した図書を展示・貸し出しする「図書・資料の企画展示」を開催した。

② 広報の充実

名古屋市公式ウェブサイトや「生涯学習 Web ナビなごや」へ最新の情報を掲載した。また、地域誌、各社新聞などマスコミを通じての情報提供を積極的に行った。

【具体的な事業展開】

1 「学習の場」提供事業

(1) 主催講座

「女性の生き方、エンパワーメント(A)」、「現代的課題(B)」、「社会参画(C)」、「子育て(D)」の4本柱で、年間を前期（5月～10月）・後期（10月～3月）の2期に分け、実施した。

期	時間	曜日	講座名	回数(回)	募集定員(人)	応募者数(人)	学習者数(人)	託児受入数(人)
前期 講座	午前	月	<J-1>【名古屋市立大学連携講座】 知って安心！女性のカラダ(A)	4	30	42	29	1
		水	<J-2>こころのメール～障がいのある女性とともに～ (A)	5	20	15	14	0
		金	<J-3>女性たちの『いま』～知ること で変わるこれからの未来～ (B)	5	30	17	13	2
		水	<J-4>ファッションとジェンダー (A)	4	30	14	10	2
		火	<J-5>地域で輝く女性のチカラ！ (A)	5	30	7	7	1
		金	<J-6>託児ボランティア養成講座1 (C)	4	20	9	6	0
		月	<J-7>点訳ボランティア入門講座1 (C)	4	20	24	21	0
		火	<T-2>乳幼児期の子育てに大切なこと (D)	5	24	11	6	4
前期計		8講座		36	204	139	106	10
後期 講座	午前	金	<J-8>託児ボランティア養成講座2 (C)	4	20	7	6	0
		月	<J-9>点訳ボランティア入門講座2 (C)	4	20	25	23	0
		火	<J-10>ドラマの中の女性たち (B)	4	30	10	7	0
		水	<J-11> [なごや女性カレッジ] 【日本福祉大学連携講座】 ワタシの力、社会で発揮！ (A)	5	30	13	11	1
		金	<J-12>考えてみたい！母娘関係～ ワタシらしく生きるために～ (A)	4	30	32	25	4
		月	<J-13>グローバルな視点で考える ジェンダー (B)	5	30	16	13	0
		火	<J-14>過去の自分を振り返る～か くれた決めつけに気づくために～ (B)	5	30	31	29	2
		水	<J-15>心理学でワタシと向き合う (A)	4	20	37	18	4
後期計		8講座		35	210	171	132	11
主催講座計		16講座		71	414	310	238	21
						充足率	57.5%	

※ 全71回中36回託児なし

(2) 公開講座・講演会等

事業名	月日	テーマ	講師	学習者数(人)	託児数(人)
「いま」を読み解く	6月 25日	<E-1>命のうた～余命告知と難病を乗り越えて～	二胡奏者 坂部 恵奈	83	2
	8月 27日	<E-4>女性の視点で振り返る震災の現場～災害ボランティアの活動を通して～	レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛	50	4
	9月 5日	<E-5>メディアを通して考える身のまわりのジェンダー平等	椋山女学園大学 教授 脇田 泰子	48	0
	12月 10日	<E-9>女性の“当たり前”を解き放つ	小説家 吉川 トリコ	78	6
	2月 18日	<E-11>「女子力」という言葉は私たちがどのように縛っているのか	名古屋市立大学 准教授 菊地 夏野	50	6
	3月 11日	<E-12>幸せのカタチ。～障がいのある娘と歩む～	司会・パーソナリティ 林 ともみ	88	3
	1月 31日	<E-10>DVは身近に起きている？～私が気づいたきっかけ～	DVにサヨナラNOある委員会 HINAKO	57	1
なごや環境 大学共育講座	11月 6日	<E-8>エシカル×女性～私たちができるエシカルなこと～	エシカル・ペネロープ株式会社 代表取締役 原田 さとみ	37	2
名古屋市博物館 共催 「特別展にみる女性たち2022」	7月 20日	<E-2>猫でみる嫁入本の展開	名古屋市博物館学芸員 津田 卓子	78	1
名古屋市美術館 共催 「特別展にみる女性たち2022」	7月 30日	<E-3>ボテロの描くふくよかな美～楽器、果物、そして女性像～	名古屋市美術館学芸員 久保田 舞美	86	1
	10月 18日	<E-7>くまのプーさん展～親子で楽しむプーさんの世界～	名古屋市美術館学芸課長 井口 智子	36	2
特別講演会	6月 4日	<E-6>女性のからだについて知ってほしいこと～自分がどんな人生を送るか、自分自身で決められる～	産婦人科医師・スポーツドクター・ヨガ講師 高尾 美穂	219	2
		12回		910	30

※ E-10はJ-14の第1回

※ 託児数は実際の託児の人数

(3) 託児事業

事業名	回数・月日	内容	託児者・講師等	託児延数(人)
講座託児	33回	1歳以上就学前までの子の託児	託児の会 「たんぽぽ」	61
講演会託児	10回			29
なごや女性 カレッジ	2回			2
学習支援託児	24回			178
託児室交流会	5月6日 7月29日 1月13日	託児説明会&託児室で遊ぼう	託児の会 「たんぽぽ」	11
	7月7日 12月2日	語ろう会 (託児利用者と託児ボランティアとの交流会)	託児の会 「たんぽぽ」	8
※ 託児定員を10人に減らして実施			合計	289

2 「交流の場」提供事業

(1) イーブルなごや・フェスティバル2022の開催

テーマ「紙面で発信！～心あわせて つながろう～」

事業名	月日	内容等	参加者数(人)
特別講演会 女性のからだについて知っ てほしいこと～自分がどん な人生を送るか、自分自身 で決められる～	6月4日	産婦人科医の高尾美穂氏による、女 性の心の不調とホルモンとの関係 や安定した心の持ち方など、人生を よりよいものに変えていくヒント についての講演	219
クイズラリー	5月27日～ 6月30日	イーブルなごやに関するクイズA と、男女共同参画週間に関するクイ ズBの2部制とし、期間も変えて実 施	70
2分の1 B紙展示	5月27日～ 6月30日	B紙の大きさを1/2にして展示 35グループの活動紹介・作品展示	22, 818

(2) 自主学習グループ主催講座の開設支援

講座名	団体名	曜日	時間	回数(回)	定員(人)	学習者数(人)
演歌を楽しむ	演歌を楽しむ会	月	午前	5	10	3
エンジョイコーラス	いちょうの会	土	午前	3	10	7
子育ての様々な困り感を臨床心理士と一緒に考えましょう	学校臨床「しゃべり場」	日	午前	3	15	8
もったいないを家庭から～編む・織る・染める・SDGs～	つながれっと3R	木	午前	2	10	12
エニアグラム入門～ワタシに役立つ心理学～	女子の心と体	木	午後	5	10	10
素敵なお読みと楽しい演芸	演芸とお読み会	水	午後	5	10	5
～もったいないを家庭から～編む・織る・染める	イーブルなごや3RL	木	午前	2	10	1
詩歌吟詠の手ほどき	公益社団法人 関西吟詩文化協会 鷺伸吟詠会 東尾張支部	火	午後	5	10	7
金子みすゞをうたいましょう	ハミングバードちくさ	日	午前	5	10	7
					合計	60

(3) 研修会・交流会

事業名	回数・月日	内容	講師等	参加者(人)
託児ボランティア研修会	5回	「子どもの発達について」等	椋山女学園大学教授 石橋 尚子 ほか	105
難聴者等支援ボランティア研修会	7月6日 3月8日	「ノートテイク実践研修」等	難聴者等支援ボランティア「イヤリング」 ほか	11
点訳ボランティア研修会	11月14日 2月27日	「手と目で作る触世界」等	名古屋ライトハウス日々のくらし相談室視覚総合相談室 藤下 直美 ほか	38
子育てグループ交流会（子育てグループ交流会共催）	8月26日 3月3日	仲間と一緒に親子で遊ぼう	一般社団法人 日本親子応援団 小原 茉奈 ほか	48
			合計	202

3 「情報の場」提供事業

(1) 学習相談事業

(単位：件)

学習機会	施設	団体・グループ	指導者	資格	教材(資料)	学習プログラム	その他	合計
9	7	28	2	—	48	—	25	119

(2) 図書資料室の運営

ア 利用者数等

事項	令和4年度	令和3年度
貸出利用者数	905人	810人
貸出利用冊数	2,110冊	1,941冊
予約・リクエスト件数	45件	70件
新規登録者数	132人	111人

イ 蔵書数

区 分	令和4年度末	令和3年度末
図書・資料 計	32,018冊	31,588冊
図書 ※1	21,822冊	21,580冊
雑誌 ※2	5,675冊	5,578冊
資料 ※3	4,255冊	4,164冊
VTR、DVD、CD-ROM	266個	266個

※1 参考図書、児童図書含む

※2 「女性展望」「We Learn」「fvisions」など

※3 全国行政機関発行資料、団体資料、大学紀要、貴重書など

ウ 図書・資料の企画展示実施結果

回数	開催期間	テ ー マ	展示した図書の内容
1	4月1日～ 4月29日	ココロとカラダを大切に	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のこころとからだについて ・女性の生理に関する基礎知識 ・若者のこころとからだ・性について
2	6月1日～ 6月30日	ジェンダー平等を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーについて ・ファッションとジェンダーについて ・スポーツとジェンダーについて
3	8月1日～ 8月31日	仕事と家庭の両立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの家族と働き方について ・男性の育児休業について ・家庭での子どもへの教育について
4	10月3日～ 10月31日	コロナ禍の女性とDV	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のコロナ禍と女性の生活について ・日本におけるDVについて ・日本における性暴力について
5	12月1日～ 12月28日	人とのつながりについて考える	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのつながりについて ・日本における母と娘の問題について ・ケアについて
6	2月1日～ 2月28日	女性視点からの防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災と女性 ・男女共同参画と防災 ・子どもたちの命を守る防災について

4 その他

(1) ホール機器研修会

開催日	参加者(人)
令和4年4月14日	0
令和4年5月12日	10
令和4年6月9日	8
令和4年7月14日	9
令和4年8月10日	24
令和4年9月8日	8
令和4年10月13日	19
令和4年11月10日	7
令和4年12月8日	4
令和5年1月12日	2
令和5年2月7日	13
令和5年3月9日	0
合計	104

Ⅷ 令和4年度利用状況

1 開館日数 347日

2 利用人数 209,929人 (令和3年度 159,072人)

内訳

(1) 研修室・ホール等利用人数

167,341人 (令和3年度122,755人)

区 分	女 性	男 性	計
貸 室 (男女平等)	20,776人	8,823人	29,599人
貸 室 (女性教育)	56,887人	12,678人	69,565人
貸 室 (その他)	36,165人	26,745人	62,910人
主催講座	4,571人	696人	5,267人
計	118,399人	48,942人	167,341人

(2) その他の利用人数

42,588人 (令和3年度 36,317人)

室 名	女 性	男 性	計
託 児 室	1,122人	328人	1,450人
ボランティアルーム	766人	16人	782人
録音室・モニター室	33人	20人	53人
その他(※)	—	—	40,303人
計	1,921人	364人	42,588人

(※) 貸室以外で行った事業及び、図書資料室・活動コーナー・情報フロアなどの利用者を計上

(3) 研修室・ホール等部屋別利用状況

部屋名	利用件数	利用率	利用者数
大会議室	5 5 7 ^件	5 7. 1 [%]	8, 5 5 9 ^人
中会議室	6 7 2	6 9. 2	5, 4 5 5
小会議室	5 3 7	5 5. 1	2, 8 8 6
大研修室	7 4 6	7 6. 5	1 4, 6 6 2
第1研修室	6 3 3	6 4. 9	9, 0 0 8
第2研修室	6 0 1	6 1. 6	8, 2 0 0
第3研修室	6 1 3	6 2. 9	3, 1 1 4
第4研修室	6 2 9	6 4. 5	3, 5 2 9
第5研修室	7 1 5	7 3. 3	2, 5 2 2
第6研修室	6 6 6	6 8. 3	3, 2 8 0
第7研修室	6 4 9	6 6. 6	5, 4 2 9
第1和室	5 4 7	5 6. 1	2, 5 1 0
第2和室	3 5 3	3 6. 2	1, 5 0 2
生活科学研修室	4 6 0	4 7. 2	5, 4 3 7
視聴覚室	1 2 8 0	6 5. 6	1 8, 3 2 6
文化活動室	8 2 5	8 4. 6	1 0, 6 9 6
第1集会室	6 3 7	6 5. 5	6, 3 5 0
第2集会室	6 5 7	6 7. 5	5, 3 7 3
第3集会室	6 2 7	6 4. 4	3, 0 1 0
第4集会室	7 4 7	7 6. 6	1 2, 3 3 5
多目的室	7 8 4	8 0. 4	5, 6 0 0
ホール	4 2 9	4 4. 8	2 9, 5 5 8
合 計	1 4, 3 6 4	6 7. 1	1 6 7, 3 4 1
令和3年度合計	1 2, 0 8 9	5 6. 4	1 2 2, 7 5 5

Ⅸ 参考資料

1 新型コロナウイルス感染症に関するイーブルなごやの対応

時 期	事 項	国・県・市の動き
令和2年 3月2日	臨時休館（～5月31日）	3月2日 全名古屋市立学校(園)の臨時休業（～5月31日）
4月21日	令和2年度前期の生涯学習課主催講座・事業及び自主学習グループ開設講座の中止決定	4月10日 愛知県緊急事態宣言（～5月25日） 4月16日 緊急事態宣言（～5月14日）
5月20日	「生涯学習センター及びイーブルなごやの開館に向けたガイドライン」の策定	
6月1日	開館（図書資料室及び託児室（※）を除く）	
9月1日	図書資料室の利用再開	8月6日 愛知県緊急事態宣言（～8月24日）
令和3年 1月18日	夜間区分の新規申し込みを20時までの利用に制限。既に使用許可をしている者に対しては、20時以降の活動を自粛するよう要請（～2月28日）	1月14日 緊急事態宣言（～2月28日） （※1月18日～2月28日 時短措置）
4月20日	夜間区分の新規申し込みを20時までの利用に制限。既に使用許可をしている者に対しては、20時以降の活動を自粛するよう要請（～7月11日）	4月20日 まん延防止等重点措置（～5月11日） 5月12日 緊急事態宣言（～6月20日） 6月21日 まん延防止等重点措置（～7月11日）
8月8日	夜間区分の新規申し込みを20時までの利用に制限。既に使用許可をしている者に対しては、20時以降の活動を自粛するよう要請（～9月30日）	8月8日 まん延防止等重点措置（～8月26日） 8月27日 緊急事態宣言（～9月30日）
		10月1日 愛知県厳重警戒措置（～10月17日） 10月18日 愛知県警戒領域（～1月14日）
10月31日	ガイドライン改定 部屋の定員を従来通りの定員に変更（大声を出すことが想定されない場合に限定）	
令和4年		1月15日 愛知県厳重警戒（～1月20日） 1月21日 まん延防止等重点措置（～3月21日） 3月22日 愛知県厳重警戒

		8月5日 BA.5 対策強化宣言 (～9月30日) 10月1日 愛知県厳重警戒 12月8日 愛知県医療ひっ迫防 止緊急アピール (～2月19日)
令和5年		2月20日 愛知県厳重警戒 2月27日 愛知県警戒領域 (～5月7日)
5月8日	ガイドライン廃止	5月8日 「新型インフルエンザ 等感染症(2類相当)」から「5類 感染症」へ移行

※託児室の一般利用は中止